

住民の命を救う！ 救急救命士

もしも目の前で、家族や友人が倒れたら… まず真っ先に思い浮かぶのは119番に電話することですね。救急の現場は傷病者を救うべく24時間365日休む間もなく出動に備えています。

丹羽消防署で救命士として活躍する長谷川利道さんと石川雅克さんに救急救命士についてお話を伺いました。（以下、敬称略）



命を守る専門家、救急救命士

私たちが暮らしていく上での突然の事故や災害、そして病气。119番要請を受け、すぐに救急隊が駆け付けてくれるという安心感が、私たちの日常の生活を陰で支え、命の危険から守ってくれています。

大口町・扶桑町でこの任務を担っているのが丹羽消防署です。消防署では、火事を消すだけでなく、病人やケガ人を救うという任務を全うするため、消防隊や救助隊とは別に、救急隊の皆さんが日々訓練をおこなっています。

石川 管轄内には救急車が3台あり、本署、大口出張所、扶桑出張所に各1台ずつ配置されています。1台に3名が乗車し、その中に救急救命士法に基づく国家資格を有した救急救命士（1名から2名）が含まれます。救急救命士は消防士・医療専門学校で学んだ人が国家試験に合格して取得できる資格で、今から28年前の1991年（平成3年）に救急救命士法が制定され、それまでは医師に

しかできなかった医療行為を現場に駆け付ける救命士がおこなうことができるようになりました。それ以来、徐々に処置範囲が拡大しており、今は救急車に乗せる前にブドウ糖の投与、気管へのチューブ挿入、アドレナリン投与などをおこなうことができるようになります。大変な重責を担っています。

私は、消防士になって8年目に「救急救命士」の資格を取る決心をして、日々勉強して取得しました。10年間救命士の仕事をすることで次なるステップアップを目指し、昨年、「指導救命士」の認定を取りました。現在は自分自身の訓練もさることながら後輩の指導にも力を注いでいます。

住民の皆さんが119番したとき、どの救急隊員にきてもらうか選ぶことはできません。命の危険が迫る中で、どの隊員がきても同じ質の処置ができなければ責務を全うできないという緊張感を持って、消防署全体で日夜技術訓練に励んでいます。

大口町の救急搬送の受け入れ先事情は？

長谷川 大口町は、さくら総合病院、

江南厚生病院、小牧市民病院、総合
犬山中央病院など受け入れ先に恵ま
れています。よくいわれる「たらい

回し」はほぼありません。また、さ
くら総合病院にはドクターカーを要
請することもでき、ドクターが並行
して治療にあたり重篤な事態に対応
することもできます。さらに、愛知
県にはドクターヘリも配備されてい
て、救急救命の環境は大変整ってい
ますのでご安心ください。

ーそんな中で、昨今119番要請が
増加の一途をたどっていると聞きま
すが、主にどんな要請が多いので
しょうか。また、その理由として考

えられる事情は何ですか。

長谷川 丹羽消防署が受けた出動件

数は、昨年1年間で2501件でし
た（扶桑町を含む）。その中で、5
年前と比べて急激に増えているの
が急病（360件増）と一般負
傷（70件増）です。考えられる大き
な理由は、高齢人口の増加もさるこ
とながら、一人暮らしや高齢夫婦の
みの世帯が年々増えていることで
すね。自分で動けない、搬送手段がな
いなどの事情でやむを得ず119番
されるパターンも多く、いつかは誰
にも訪れる問題で、社会全体で考
えていかなければならない課題であ
るといえます。



▲石川雅克さん



また、最近では温暖化による気温
上昇に伴う熱中症で呼ばれることが
増えています。これもまた、避けら
れない現代事情であり、対策につい
ては慎重に練っていく必要があります。

大口町ならではの出動要請として
は、労働災害がありますね。大きな
工場を多く抱える大口町は、企業の
昼間人口が多く、仕事中のケガで呼
ばれる割合が多いのが特徴です。

救急車の適正利用についてのおまきですか？

長谷川 確かに、かけつけてみたら
軽症だったということもあります。
ただ、呼ぶ方が緊急かどうか区別が
つかない場合がほとんどで、軽い症
状に見えたが実は重篤だった、とい
うことも多々ありますので、ご心配
な場合はためらわず救急車を呼んで
いただければと思います。

救急車を呼ぶほどではないが、休
日や深夜など病院が時間外で受診で
きない場合は、電話相談も受け付け
ます。119番または丹羽消防署（☎
95-5151）にお電話いただけれ
ば、簡単な応急処置の方法や、24時
間受け付けている最寄りの病院を紹
介します。

取材にて

きびきびした動作と、はきはきしたお話しぶりが特徴的な消防士の皆さん。取材にお伺いした時も、ちょうど救命士トレーニングと救助訓練の真っ最中でした。決められた秒数で走って移動し、分厚い防火服に着替え、ずっしりと重いホースを伸ばしたり、高いところへのぼったり。常に大きな声で声を掛け合い、ひとつの無駄もない動きであったという間に一連の動作を終えられました。

体力はもちろん、注意力や協調性、瞬時の判断力など多くのことが求められる消防士の仕事。出動要請のな



▲長谷川利道さん

的にも筋トレなどで体力維持を心掛けておられるそうです。丹羽消防署（本署）には女性消防士もおられ、男性と同じ訓練をしているそうです。「女性も男性も同じ訓練をする中で、自分にできる限界を知ることが大切です」と長谷川さん。

「救命救命士」はいつも生死の分かれ目に立ち会うという意味で最も緊張の走る仕事のひとつです。「一刻を争って応急処置をしても、正直すべての方が助かるわけではありません。ですが、たとえたったの半日であっても長く心臓が動けば家族とお別れの時間を作れることもあります」と石川さん。ご自身も親が急に倒れ、駆け付けるのが間に合わず一

生の悔いが残る経験をされたそうです。その経験から、少しでもそのような思いをする家族を減らせるようにと日々精進し、また指導救命士として署全体の救命の質の向上を目指し、非番の時に極力後輩たちの訓練に立ち会っているそうです。

救命活動をする上でいつも念頭にるのが「患者の家族の気持ちも救う」という気持ち。どんな方にも家族がいることを忘れずに、たとえ救命が困難な状態であっても最善を尽くすことを肝に銘じているとのこと。「消防士である前に、人としてやるべきことを」とおっしゃっておられたのが印象的でした。

救急相談窓口

- 一宮情報センター
☎ 0586-72-1133
24時間対応の医療機関を案内
- 小児救急電話相談
☎ #8000
☎ 052-962-9900
午後7時から翌朝8時
- 全国版救急受診アプリ
Q助 (きゅーすけ)



かかりつけ医を
持ちましよう！

病床数200床以上の病院で、他の医療機関等からの紹介状（診療情報提供書）なしに初診で受診した場合、初診料とは別に、各病院で定めた「選定療養費」が必要となり、窓口での医療費負担が多くなる場合もあります。「ちょっと具合が悪いかな？」と感じた時は、まずは、お近くのかかりつけ医（開業医）を受診しましょう。

尾北医師会管内で初診時選定療養費が必要な医療機関

（令和元年10月現在）

江南厚生病院	5500円
総合天山中央病院	2750円
さくら総合病院	1650円

初診時選定療養費について

医療機関の機能分担の推進を目的として「初期の治療は地域の医院・診療所（かかりつけ医）で、高度・専門医療は病院（200床以上）でお願い」という厚生労働省により制定された制度です。